

特定建築物における

IPMに基づく防除の実態とその推進

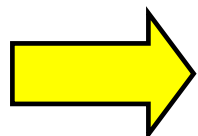
大阪府健康医療部 環境衛生課

大阪府保健所所管区域



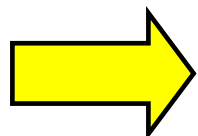
1 はじめに

- 平成15年4月、建築物の衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部改正。



定期的に、統一的に調査を実施し、
その結果に基づき、必要な措置を講じることとなった。

- 平成20年1月、建築物環境衛生維持管理要領の改正。



IPMを取り入れた防除が求められている。

- IPM推進の基礎資料を得るため、実態調査を実施した。

2 実態調査概要

(1) 調査対象

- 特定建築物194施設
(食品取扱店舗108件、事務所86件)
- 防除業者23社((社)大阪府ペストコントロール協会
会員、ビル内防除実施の業者)

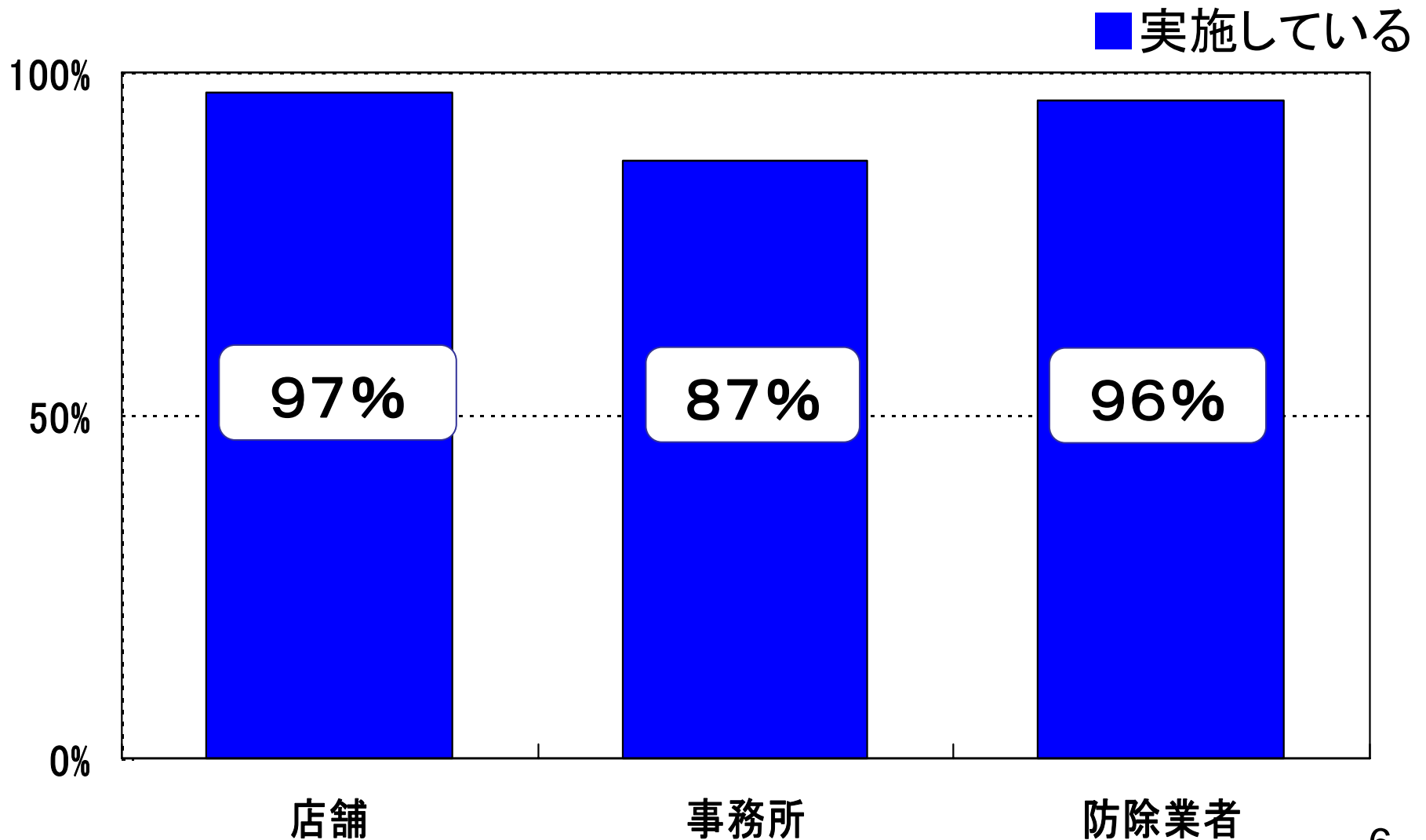
(2) 調査期間: 平成21年8月～9月

(3) 調査方法: 特定建築物所有者等、防除業者への
アンケート調査

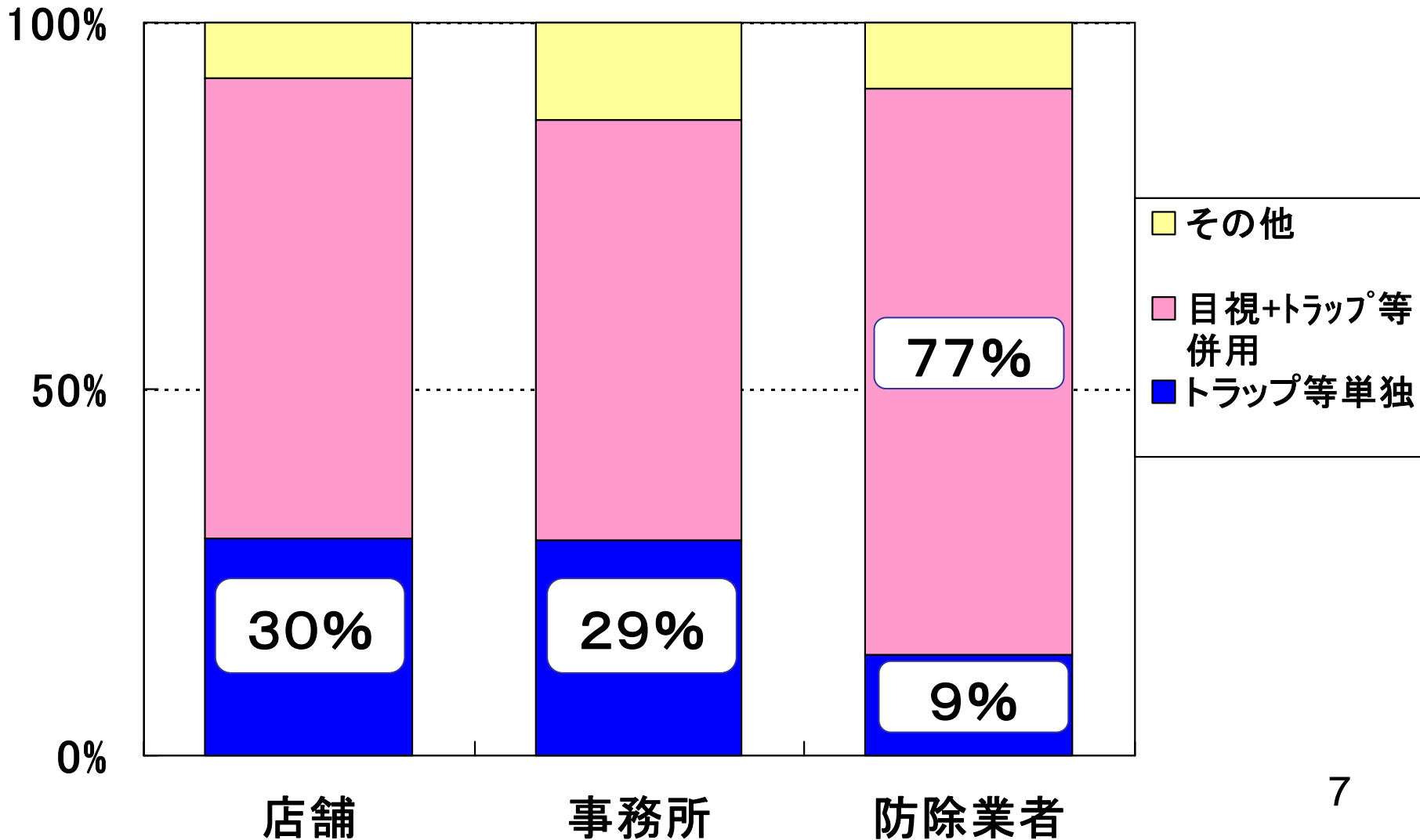
3 結果及び考察

- ① IPMに基づく
生息調査・目標設定

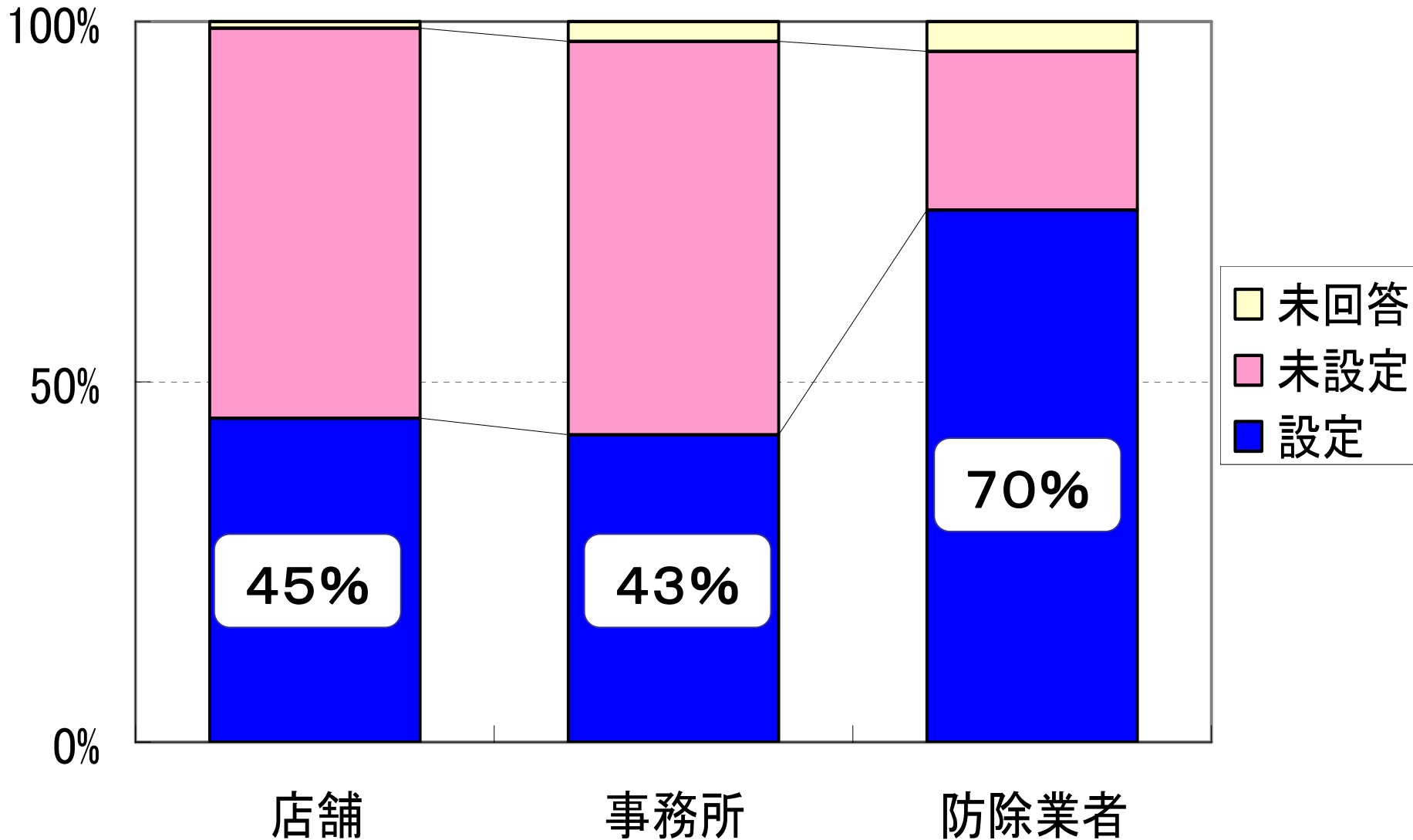
生息調査の実施状況



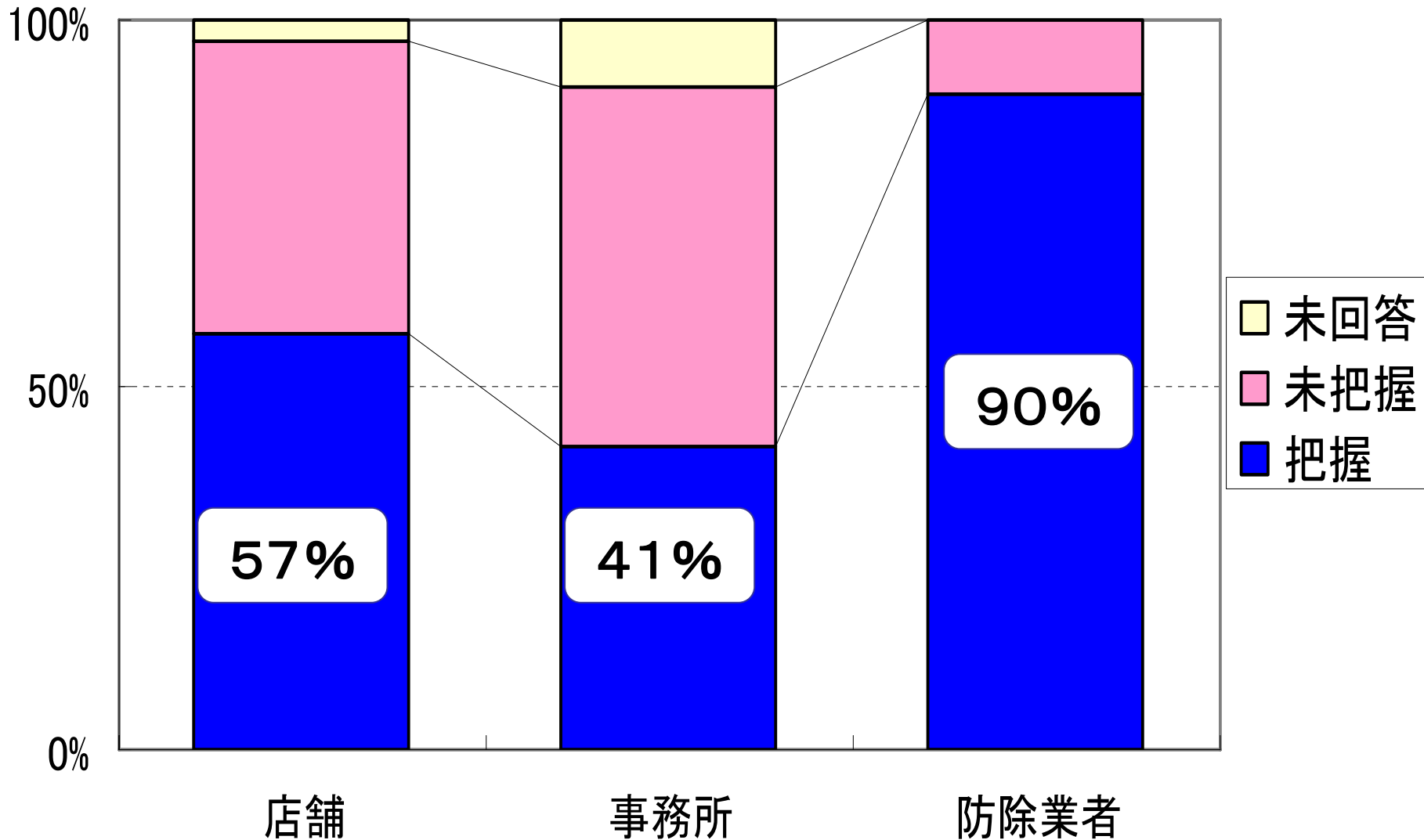
生息調査方法



目標水準の設定状況

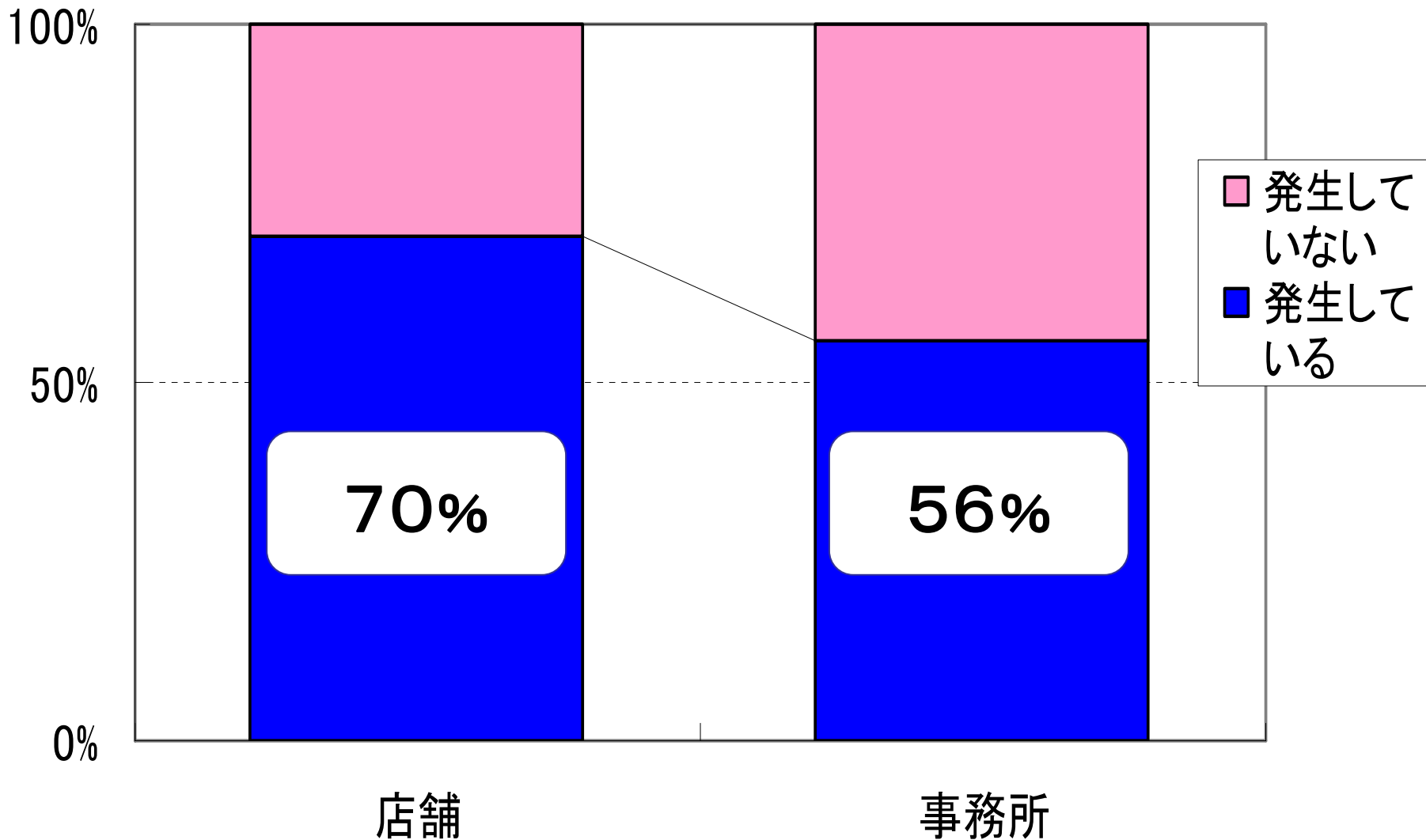


指数等の把握



②ねずみ害虫等の発生状況

ねずみ害虫等の発生状況



ねずみ害虫等の発生状況(詳細)

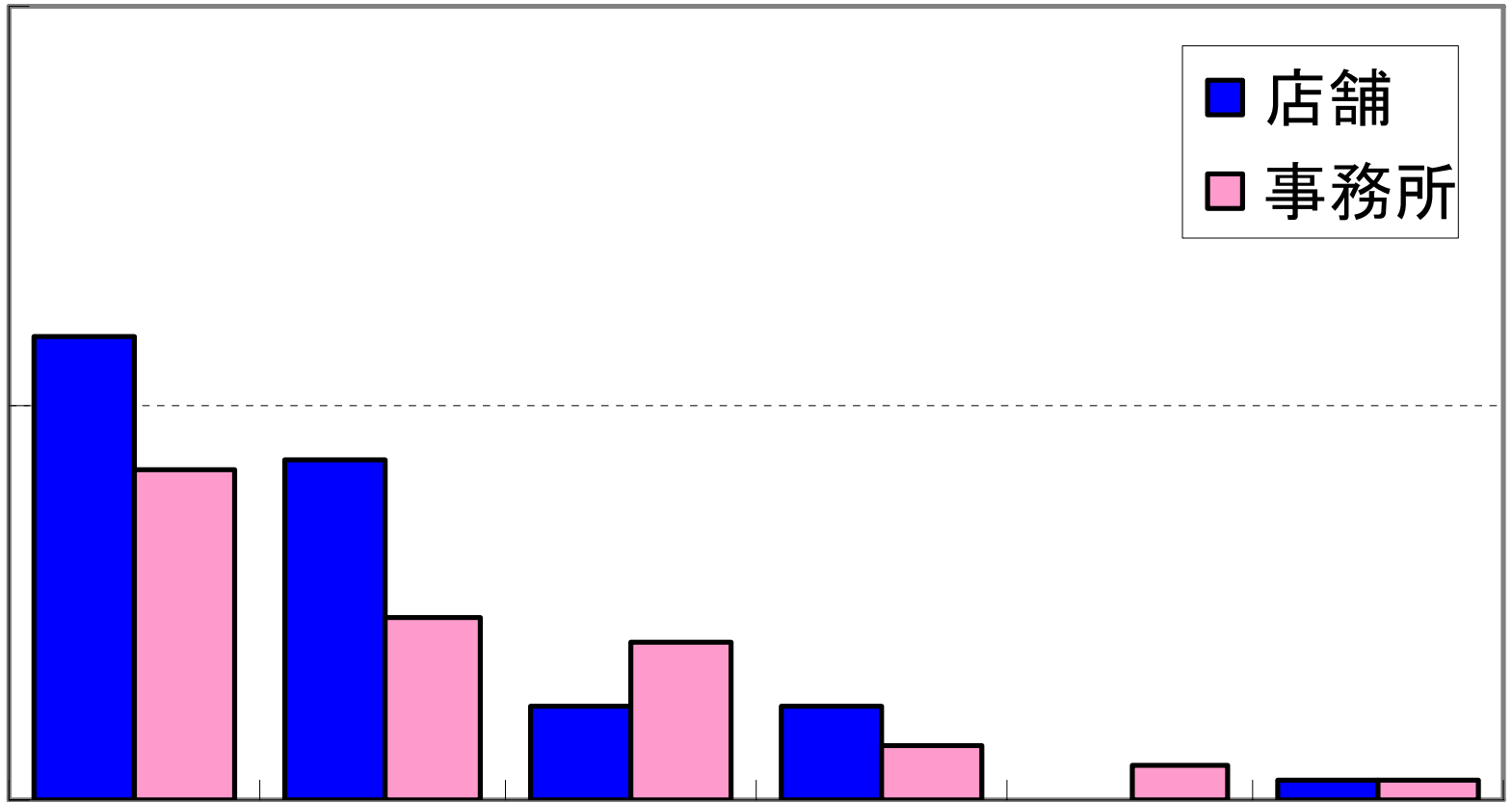
(%)
100

50

0

■ 店舗
■ 事務所

ゴキブリ ハエ 蚊 ネズミ ダニ その他



③発生源対策と侵入防止対策

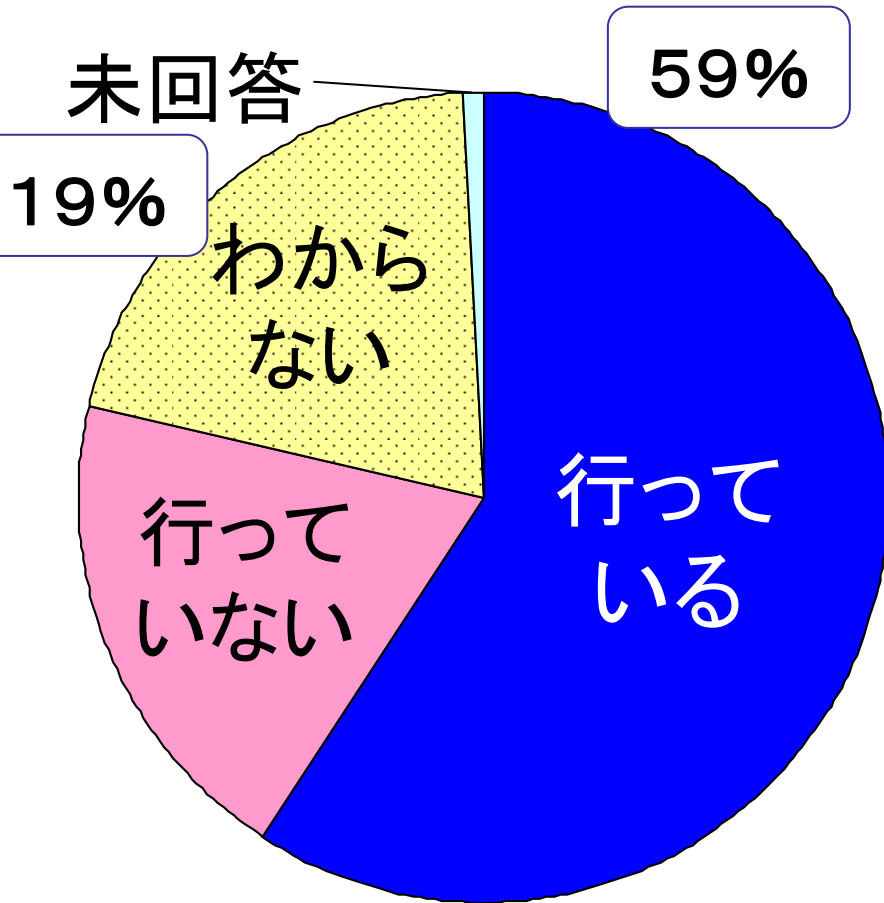
発生源対策を行っている施設

	店舗(108件)	事務所(86件)
行っている	94%	99%
行っていない	4%	0%
未回答	2%	1%

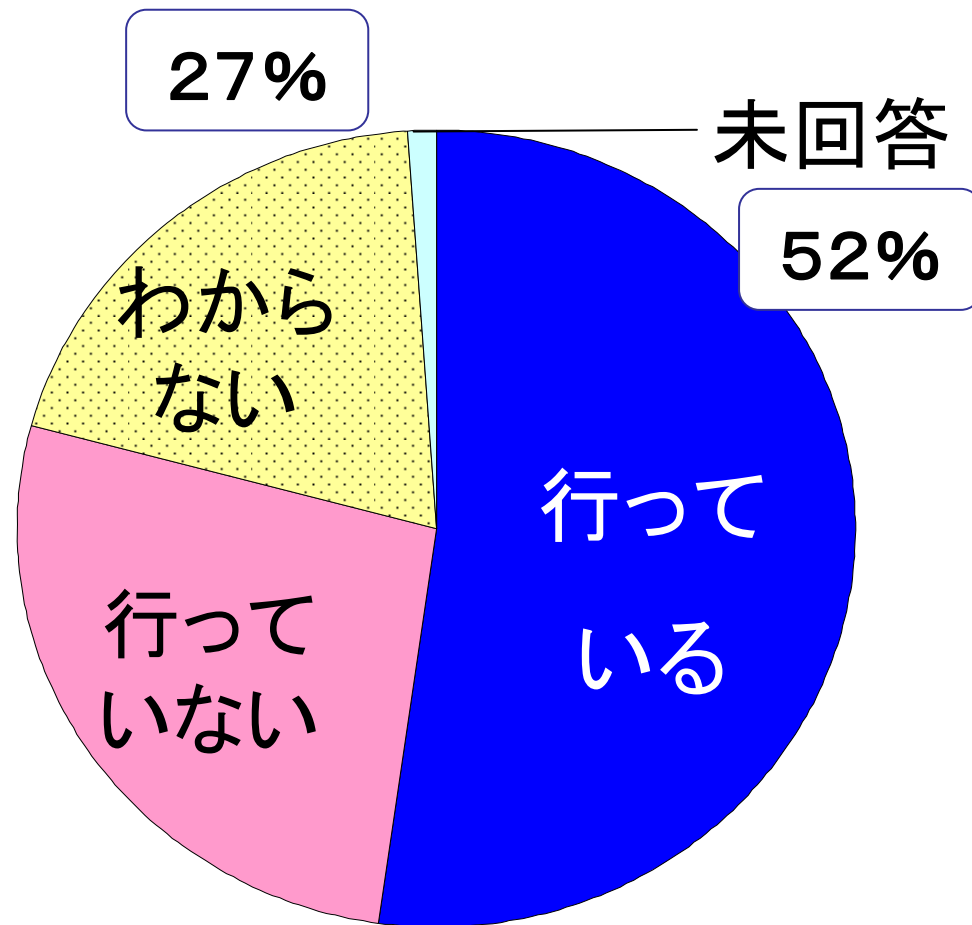
発生源対策

	店 舗	事務所	防除業者
掃 除	14%	14%	11%
整 理 整 頓	4%	6%	11%
掃除＋整理整頓 等複数	80%	74%	58%
そ の 他	2%	6%	21%

侵入防止対策の実施状況



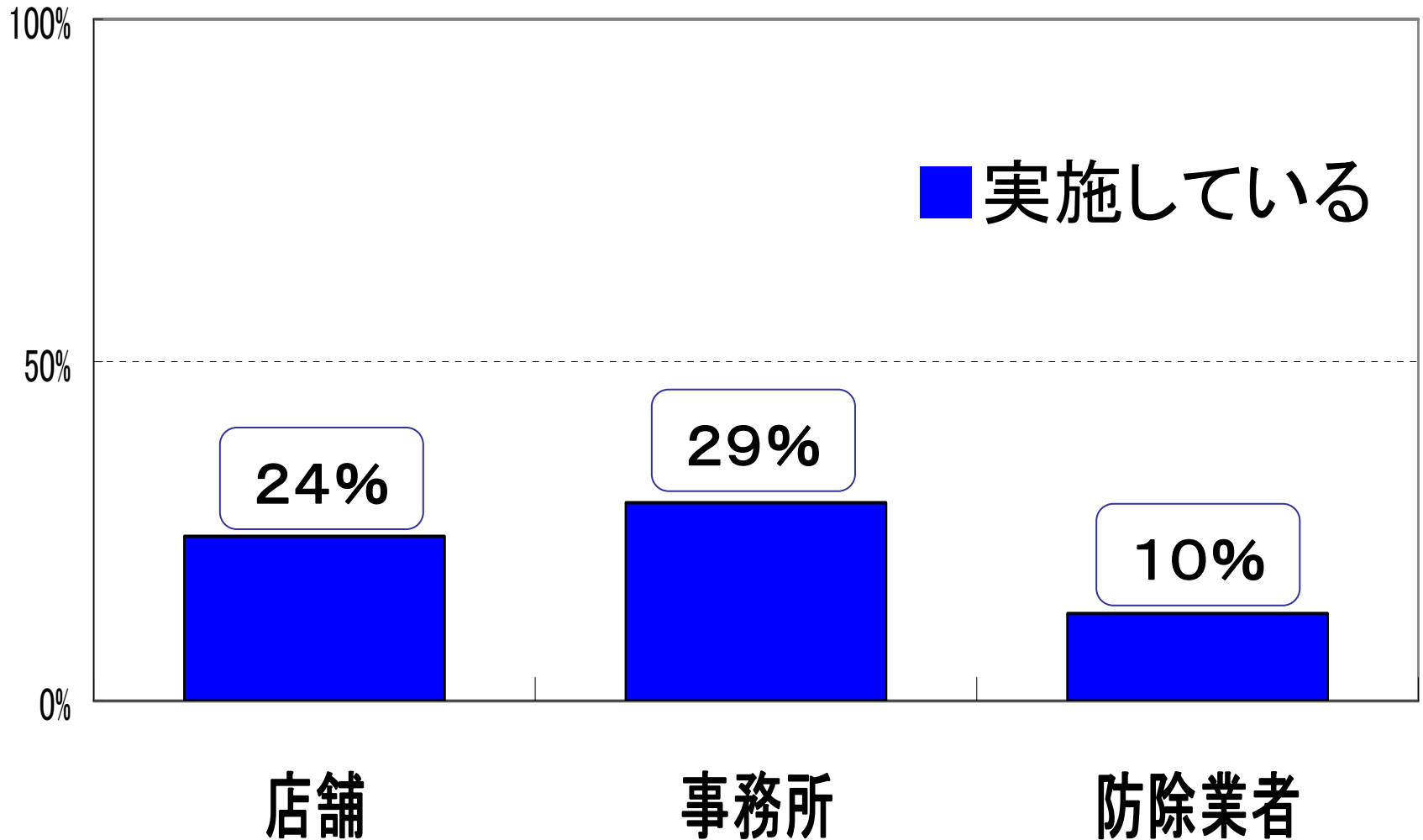
店舗



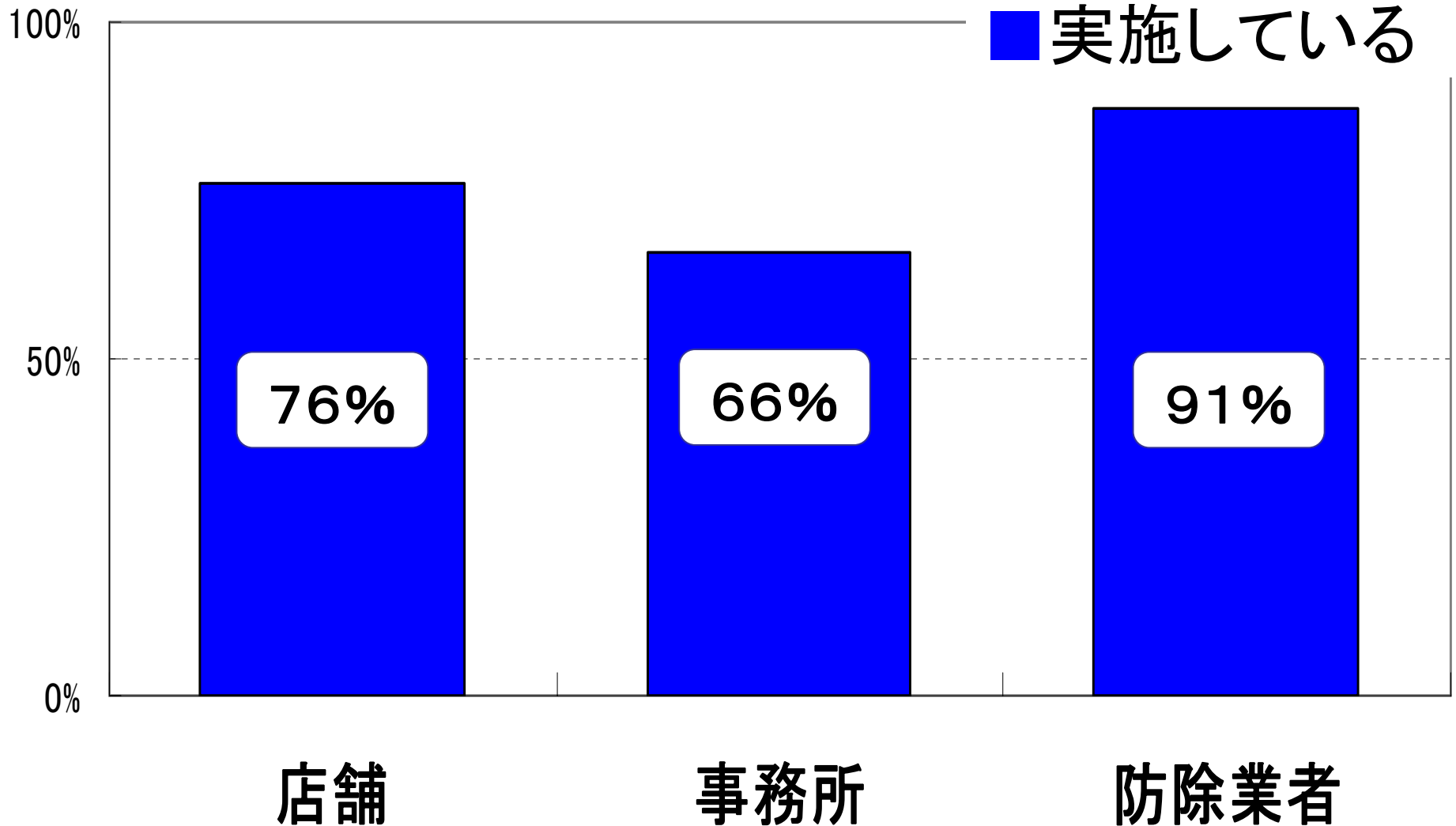
事務所

④薬剤散布前後の
利用者への周知と
防除作業後の評価

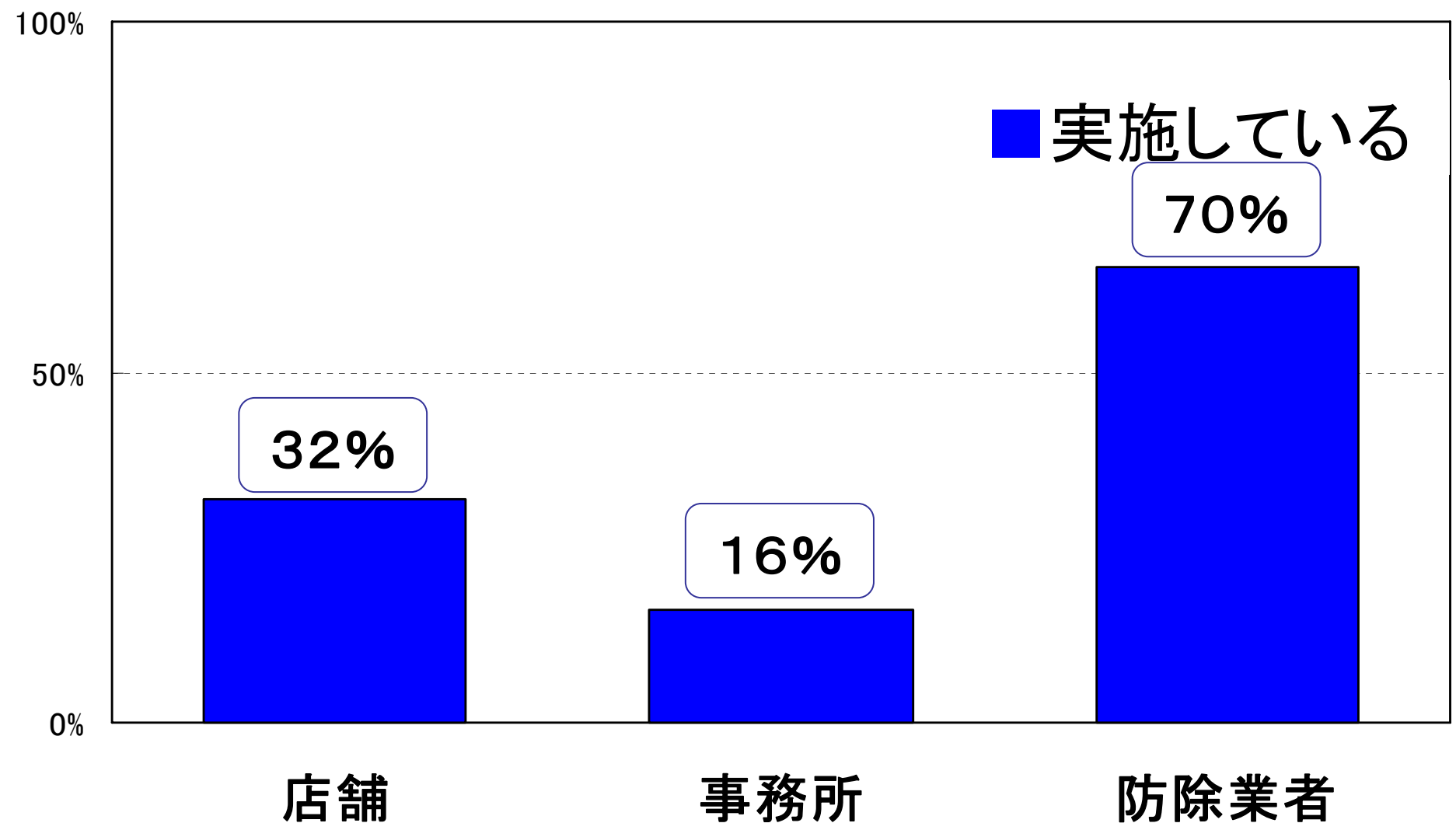
薬剤散布前後3日間の掲示



防除作業後の効果判定（生息調査）

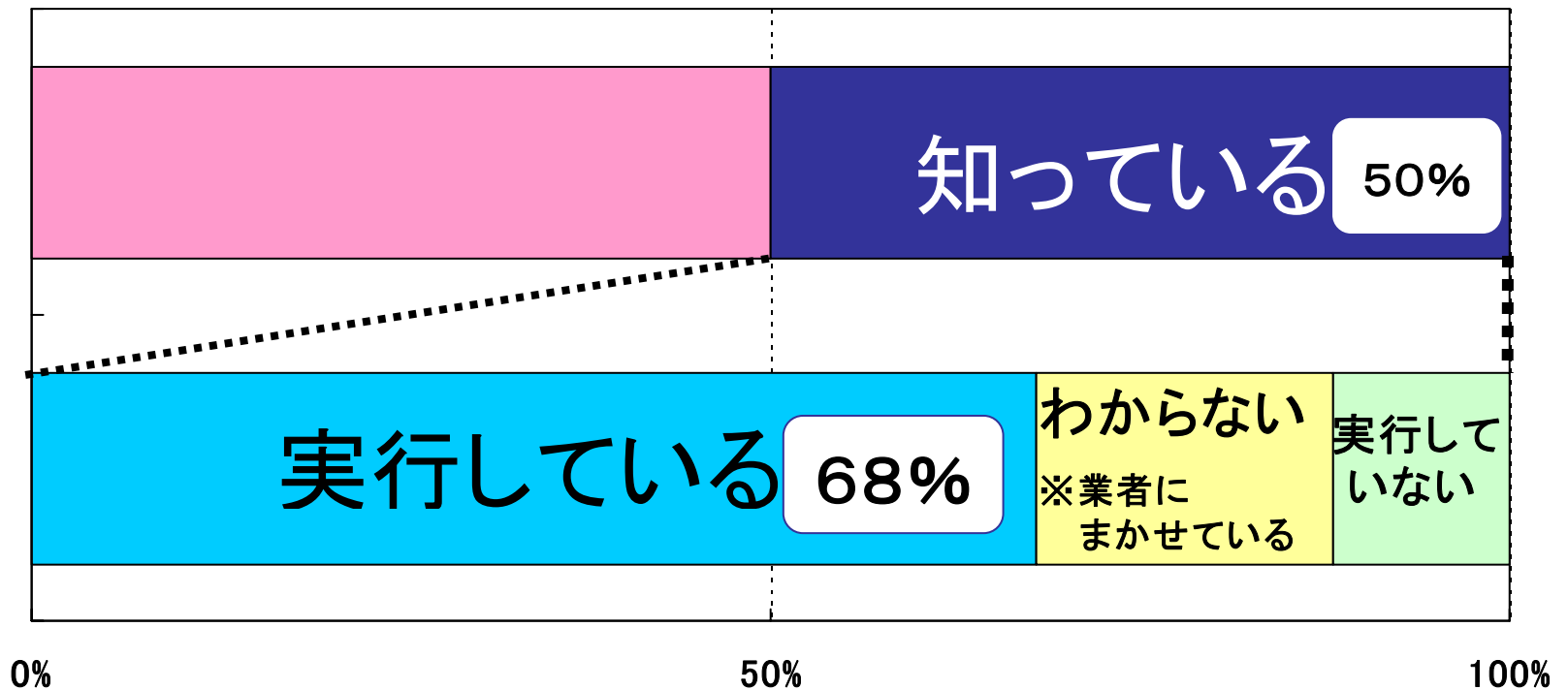


効果判定結果による再度措置

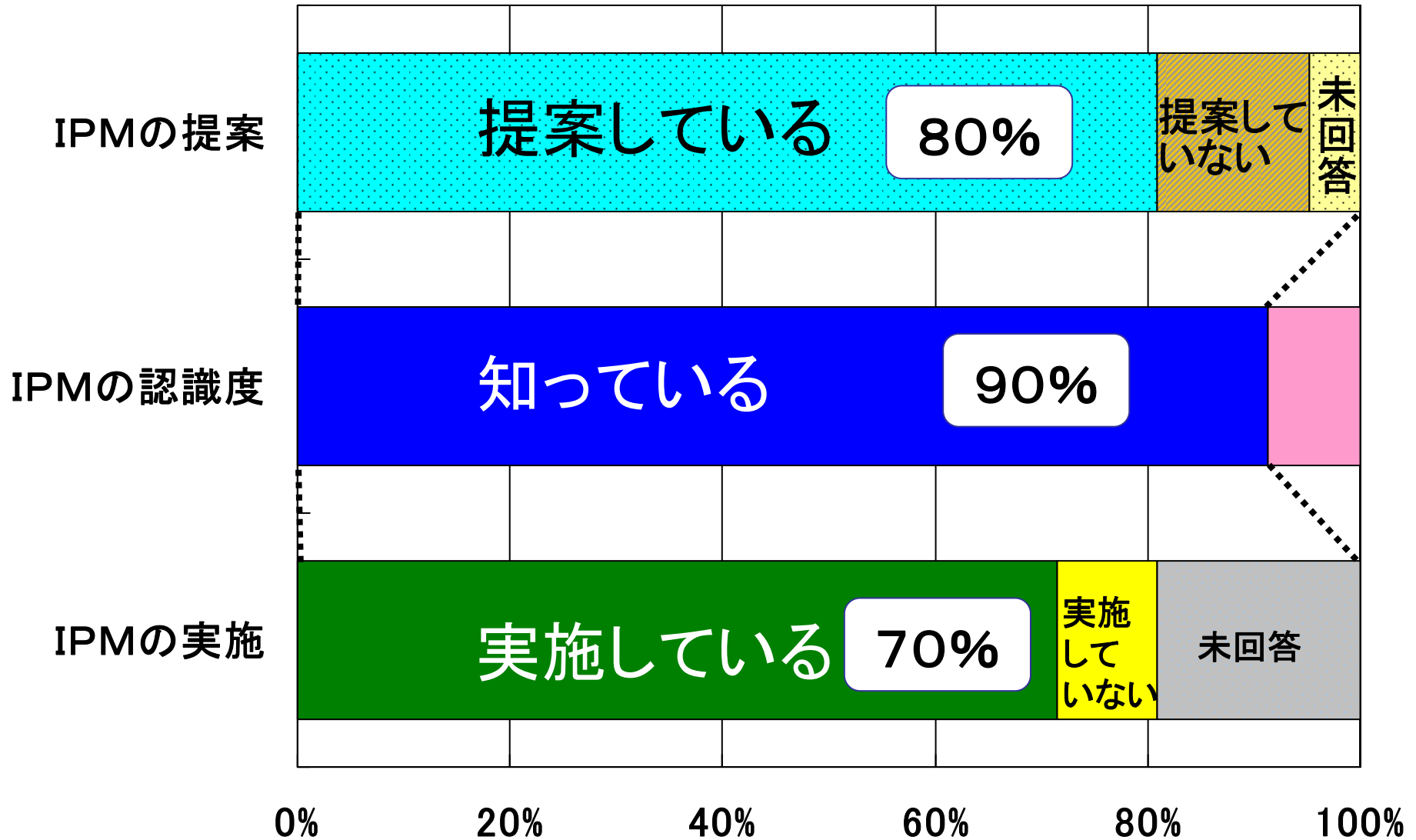


⑤IPMについての認識度

IPMについて 特定建築物所有者等の認識度



IPMについて 防除業者の認識度



4 まとめ・今後の課題

まとめ(特定建築物所有者等)

【IPMに基づくねずみ等の防除の実施状況】

- ・生息調査を実施している施設は多い。
- ・**指数での把握**及び**目標水準**を設定している施設は少ない。
- ・整理整頓等発生源対策を実施している施設は多いが、侵入防止対策を実施している施設は少ない。

【IPMへの認識度】

- ・**IPMの認識度が低い**が、**認識している施設での実施率は高い**。

まとめ（防除業者）

【IPMに基づくねずみ等の防除の実施状況】

- ・生息調査結果の指数等での把握、目標水準等の設定をしている業者は多い。
- ・しかし、再度措置率については高い。
- ・薬剤散布前後の周知率が低い。

【IPMの認識度】

- ・IPMの認識度は高い。

今後の課題

- ・ IPMが人の健康や環境への負荷を最小限にとどめる方法で、有害生物を制御し維持する防除方法であることを、所有者等へ引き続き周知啓発することが重要。

5 推進の取り組み

【所有者側への周知啓発】

- 特定建築物の立入検査のとき
 - 1) 調査結果の説明と施設への個別指導
 - 2) 未調査施設のIPM防除取り組み状況の把握と個別指導
- 講習会を利用した、周知啓発

特定建築物立入検査時の報告書(抜粋)

ねずみ等の発生場所	種別	生息	確認(28年)	目撃発生	防除方法	対策
	ねずみ	有・無	回/年	有・無	調査のみ・侵入防止対策・発生源対策() 薬剤使用(薬剤名: : 建号・建物号) トラップ使用・その他()	有・無
	ゴキブリ	有・無	回/年	有・無	調査のみ・侵入防止対策・発生源対策() 薬剤使用(薬剤名: : 建号・建物号) トラップ使用・その他()	有・無
	その他 ()	有・無	回/年	有・無	調査のみ・侵入防止対策・発生源対策() 薬剤使用(薬剤名: : 建号・建物号) トラップ使用・その他()	有・無

注) 糞料を取扱う区域並びに排水溝、粗糞器及び汚濁物の保管設備の周辺等特にねずみ等が発生しやすい箇所についてはその生息調査及び必要な措置が2月以内ごとに1回必要。

衛生害虫等の相談件数

種類	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位
ハチ類	9331	1	11724	1	8946	1	10843	1	10443	1
ゴキブリ類	8557	2	5128	2	4061	2	533		456	
カ類	1785	3	1710	3	1987	3	1430	2	1386	2
ノミ類	1140	4	908	4	878	5	492		407	
ダニ類	830		910	5	707		598	5	481	5
ユスリカ類	845	5	887		794		792	4	887	3
ガ類	731		813		1023	4	803	3	585	4
ハエ類	749		670		435		336		331	
シラミ類	361		473		253		137		142	
シロアリ類	286		310		301		270		242	
アリ類	243		286		377		273		402	
その他	2994		1932		2270		2056		2022	
ネズミ	11393		9190		7242		4111		3261	
ゴケグモ	456		1346		2338		2101		1429	
相談件数 合計	39701		36287		31612		24775		22474	

相談件数の推移(主なもの)

